

九里学レポート

令和2年
年末号
VOL.41

くらしのご相談やご意見など FB(フェイスブック)日々更新中
ございましたらお気軽に

www.9ri.jp

くのり学事務所へ

TEL077-558-1809/FAX077-558-0665

ホームページ
みてね!!
イメージ
キャラクター
くのり学

(事務所・自宅)〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3

(発行責任者/九里学・編集責任者/米津 進)

く
の
り
学
レ
ポ
ー
ト

地道に!!
頑張ろう!!

『今年も一年ありがとうございました。』

多くの皆さまに支えられながらお陰様で今年も過ごすことができました。

コロナ禍は湖国に、この国に、世界に、そして私たちの生活に現実をさらしました。

こうした困難な時こそ対立を包み、英知を集め、苦しい現実から逃げず、目を背けず『県民主軸で断を下す』。

初心忘れず、信念を貫いた一年であったか。改めて自身と政治の実行力が試されている年の瀬です。

来たるべき新年も何卒宜しくお願い致します。

くのり まなぶ
滋賀県議会議員 九里 学



(2020年1月5日の年賀会の様子)

【所属会派】

チームしが県議団副代表

【滋賀県議会 所属委員会】

土木交通・警察・企業常任委員会副委員長・議会運営委員会委員

・滋賀県都市計画審議会委員・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会委員

・滋賀県都市計画審議会委員・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会委員

くのり学 新年賀会 開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年(令和3年)度のくのり学新年賀会は**開催を中止**させていただくこととなりました。

日頃よりご指導ご鞭撻いただいております皆様のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、ご理解の程よろしくお願いいたします。(拝)

11月定例会議 九里 学 知事・健康医療福祉部長に質す (12月7日 抜粋)

放課後児童クラブと保育ソーシャルワーカーについて 保育所に「虐待・貧困対応員」を配置予定答弁。県来年度に拡充決定!

Q①…放課後児童クラブの量の拡充をどのように考えているのか。

A①…「淡海子ども・若者プラン」を策定し、放課後児童クラブの目標値を定めている。具体的に平成30年度末実績の利用児童数17,041人に対し、令和6年度末には39%、6,637人増の23,678人の利用定員の確保を目標としている。目標が現状と大きく乖離している場合には、必要に応じて県内19市町とともに計画の見直しを行うことで利用ニーズに即したクラブ定員の確保に努めます。

Q②…市町や施設の労働実態を把握し、安定した人材確保するために支援員の処

遇改善を指導助言すべきではないのか。

A②…処遇改善については施設の開所時間や賃金改善の状況に応じて補助を行う「放課後児童支援員等処遇改善事業」や、支援員の勤続年数や研修実績に応じて補助を行う「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」がある。今後は放課後児童クラブにおける処遇改善の取得や職場環境についても広く現場の声を聞き、実態の把握に努めていきます。

Q③…きめ細かな指導・助言を行うことで質の向上に取り組むべきと考えるが部長の認識を問う。

A③…放課後児童クラブの現場は支援が

多様化・複雑化してきていると聞いている。そのため、放課後児童支援員の資質向上は大変重要と認識している。県では「放課後児童支援員等資質向上研修」を実施している(これまで約300名の方が受講)。各施設への訪問による助言指導も含め、県としてどのような取り組みができるのか、現在検討しています。

Q④…要支援児童等対応推進事業をさらに推進すべきだと私は考えるがどうか。

A④…保護者への支援は保育所の役割とされており、保護者に育児不安が見られる場合には個別に支援を行ったり、虐待等の不適切な保育が疑われる場合には、市

町の要保護児童対策地域協議会等の関係機関と連携して適切に対応することが求められている。県としても本年度より「地域連携推進員」の配置にかかる事業を予算計上している。ただ、本年度は1市のみでの実施予定であるため、対応できる体制づくりを県内全域に広げていきます。



栗東市の学童保育について協議する

自殺対策について(自らの命を大切にすると訴える) コロナ禍、女性による自殺相談 36%増。九里 学防止対策の必要性を訴える!

Q①…自殺者増加の背景について問う。

A①…7月以降前年同月比5ヵ月連続で自殺者が増加している。要因は①コロナ禍において女性の自殺者数が大幅に増加したこと②若手有名俳優の自殺報道の影響により自殺者が増加したことなどが背景にあると分析しています。

Q②…女性の自殺が増加している背景について問う。

A②…コロナ禍により就労面、生活面で女性に大きな負の影響をもたらしていることが原因と分析。具体的には①コロナ禍で仕事を失った女性が非常に多いこと(非正規雇用の従業員の現実が女性にとって著しい)②家事・育児等の負担増の2点。県として今後の動向を注視し、検証や分析を行っていきます。

Q③…女性の自殺者増加の検証について

問う。

A③…例年とは明らかに異なる動向であり関係機関が連携し検証することが重要。県では「自殺対策連絡協議会」を設置し必要な検証を行っています。

Q④…自殺防止のための相談体制取組の進捗状況について問う。

A④…自殺予防電話相談や対面による「こころのほっと相談事業」の拡充をし回線数や相談回数の増加を行いました。それに伴い、自殺予防相談件数は978件から1,086件へ11%増加し、対面相談も42件から74件に約76%増加しています。

Q⑤…コロナ禍の相談内容とその特徴について問う。

A⑤…自殺予防電話相談においては男性の相談件数が減少している一方、女性が約36%増加しています。相談内容は「経

済生活の問題」が約28%、「家庭問題」が約18%、昨年より増加しています。具体的には「感染拡大の影響により仕事や収入が減少し、経済的に困っている」「家族関係が悪化した」「就職活動ができない」「感染が怖くて外出できない」「生活が一変し、気分が落ち込んでいる」など様々です。

Q⑥…『滋賀いのちの電話』の事務所移転にかかる県の支援について、知事の見解を問う。

A⑥…相談者のプライバシーに配慮すると事務所の周知は対応が難しい面もあり、『滋賀いのちの電話』の担当者から現状や課題を聞き、今後一緒に考えていきます。

Q⑦…自殺の取組にかける知事の決意について問う。

A⑦…コロナ禍で悩みを抱えている人

の方が孤立し追い込まれることがないよう、丁寧な相談対応と相談に踏み出していただけるメッセージの発信を続けます。また、自殺者の26%は過去に自殺未遂歴があるとのこと。保健所や救命救急病院と連携を図り、丁寧な支援に努めます。さらに滋賀県の自殺の増加要因等の検証結果を踏まえ、より効果的な取り組みを実施することで誰一人取り残さない社会の実現を目指します。



12月7日本会議で知事に質す

九里学のアクション7!

すまいる・あくしょん

暮らし・遊び・学びの指標

アクション7

子ども達の笑顔を増やそう!!

湖国の子ども達が
コロナ禍でも笑顔を増やすため、
大人と子どもが
気を付けたい
7つのアクションを
まとめました。



すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

正しい情報を
選んで伝える

子ども
あくしょん 感染症を正しく知って行動しよう

すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

子どもの声を
聞いて一緒に考える

子ども
あくしょん 今の気持ちを伝えよう

すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

心と身体の健康を支え
思いやりを育む

子ども
あくしょん 自分も周りの人も大切に

すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

人とのつながりや喜びを
感じられる居場所を
つくる

子ども
あくしょん 頼れる人や場所を見つけよう

すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

のびのびと遊び、
育つための環境を守る

子ども
あくしょん 身体を動かしてしっかり遊ぼう

すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

文化・芸術・自然・社会に
触れる体験を増やす

子ども
あくしょん わくわく感動する気持ちをもとう

すまいる・あくしょん



おとな
あくしょん

オンラインを
活かすための
環境を整備する

子ども
あくしょん オンラインを上手に活かそう

年末年始も感染対策を徹底しましょう

九里学のベーシック3! シーン5!

コロナウイルス感染拡大防止のため、滋賀県は「予防の3つの行動」「5つの危険な場面」を発表しました。
年末年始は人と会う機会が増えます。より一層の感染対策にご協力をお願いいたします。

感染防止の3つの基本

ベーシック3

① 2メートル離れる

飛沫感染を防ぐため
人との距離をとりましょう

両腕分の距離を確保



② マスクの着用

外出時や会話をするときは、
マスクを着けましょう

鼻と口の両方を覆う



③ 手洗い

帰宅直後、調理や食事の前には
必ず手を洗いましょう

水と石鹸を使う



横並びで座る



ゴムひもをかける



30秒以上もみ洗い



椅子はひとつ空ける



隙間がないか確認



すぎは15秒以上



感染リスクが高まる5つの場面

シーン5

① 飲酒を伴う懇親会

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数密などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、飲み飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご通では、地味な食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をする事で、飛沫感染やマイク口飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、経カラオケなどの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤ 仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



九里学 R2年 10月~12月 レポート



令和3年度新年度予算と施策について県執行部に提言する(県庁)



知事政策協議会でコロナ対策について県民要望を三日月知事に訴える(県庁)



嘉田参議院議員(前知事)とRD現場対策工事を視察し、今後の利活用を考える(小野地先)



県内各団体・企業とチームしが会派との要望懇談会を実施する(県庁)



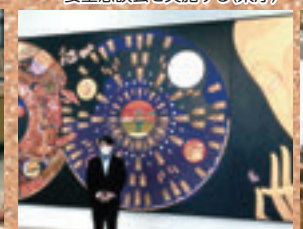
栗東音楽振興会長として久しぶりのコンサートを実施する(栗東歴史民俗博物館)



西備ホールディングス小嶋CEOより地方公共交通(バス・電車)について学ぶ(岡山市)



滋賀県都市計画審議委員として「まちづくり、のあり方や土地利用について審議する(県庁)



全国の芸術文化・教育施設を巡回し、美術館・図書館・ホールの先進地事例を視察(福岡市・和歌山市・栗東市の各施設にて)



戦後75周年目を迎え、被爆建造物構内で原子力の脅威を知る(広島市・長崎市)